

# 翔陽

帯広市立翔陽中学校 学校便り 第 11 号  
令和5・2・28発行  
校長 海鋒 達也

《学校教育目標》  
豊かな心で たくましく  
意欲をもって <sup>ゆめ</sup> 希望を叶えよ

## 入学説明会

【155名の入学予定】

2月14日、3年ぶりに、児童・保護者を本校に招いて開催することができました。本校3年生が講師を務め、中学校の生活や学習、部活動について、プレゼンソフトを使いながら自分の経験も交えて説明しました。その後、児童は校内を回り、1・2年生の授業風景を興味津々に参観していました。主体的に活動する本校生徒の姿に、未来の自分をイメージできたのではないかと思います。保護者の方も感心していました。主体的に取り組む本校生徒の伝統を新1年生に繋いでいきたいものです。



## 生徒会の伝統を後輩へ

生徒会役員選挙が6日に行われ、24日の認証式で令和5年度の新体制が決まりました。先輩方が大切にしてきた本校の伝統をさらに充実・発展させてほしいですね。



＜生徒会役員（令和5年度前期）＞ 写真左から順に  
事務局長 川内結笑(2年)、副会長 関下芽依(1年)  
会長 新妻麻那(2年)、副会長 吉田澄玲(2年)  
会計 三政樹里(1年)、事務局次長 石川瑞菜(1年)

## 3月の予定

- 2日(木) 公立高校入試(学力検査)
- 3日(金) 公立高校入試(面接検査)
- 4日(土) 数学検定
- 13日(月) 同窓会入会式  
(公立高校追入試)
- 15日(水) 卒業証書授与式
- 20日(月) 学級・学年懇談会(1・2年)
- 21日(火) 春分の日
- 24日(金) 修了式・離任式
- 25日(土) 春休み～4月9日
- 4月10日(月) 始業式・入学式

※ 感染状況により、変更もあります。

## 各種大会より

1/7から  
2/23まで

- 北海道アンサンブルコンテスト帯広地区予選  
＜管弦楽個人コンテスト＞ 金管の部 北 楓花 金賞(山川三郎賞)  
木管の部 片平瑠璃 金賞  
＜金管四重奏＞ 北楓花・栗本真鈴・品川蒼翔・長谷川聡音 銀賞  
＜打楽器四重奏＞ 山下和奏・谷口龍誠・吉田結衣・米長晴 金賞(全道へ)
- 北海道アンサンブルコンテスト  
＜打楽器四重奏＞ 山下和奏・谷口龍誠・吉田結衣・米長晴 全道金賞
- 全十勝団体卓球選手権大会  
＜男子＞ 翔陽A 予選2位、決勝トナリ出場  
(川端丈・佐藤絆生・三品真輝・森田漱一・永井篤志)  
翔陽B 予選3位  
(曾我生織・川原凌大・福田優希・國枝音流・丸子氷聖・高祐磨)
- 全十勝学年別卓球大会  
＜男子＞ シングルス 曾我生織 Best8/福田優希 Best8
- 全十勝室内ソフトテニス選手権大会  
＜女子＞ 太田琶子・三谷桃花 Best4(全道大会へ)  
野田佳稟・太田葉月 Best16
- 北海道中学生インドアソフトテニス研修大会  
＜女子＞ 太田琶子・三谷桃花 予選リーグ Qブロック第2位  
2位リーグカブロック第3位
- 北海道中学校スキー大会  
＜女子＞ 吉澤桃華 SL 全道第16位、GSL 全道第20位
- おおさかスポーツ杯バレーボール大会  
＜男子＞ 帯広合同(緑園中・翔陽中・一中・西陵中・足寄中・緑南中) 準優勝  
＜女子＞ 翔陽中 緑南中に惜敗
- 東北北海道バドミントン大会  
＜女子＞ 少年の部ダブルス 高木優里・内藤まゆ 道東2回戦惜敗
- 全十勝学年別シングルスバドミントン大会  
＜男子＞ 1年生の部 内藤煌牙 第5位、松田悠志 Best16  
2年生の部 田坂優和 Best16  
＜女子＞ 1年生 星久保絢花 Best16  
2年生 高木優里 Best16
- 帯広市青少年「いじめ・非行防止標語」  
＜佳作＞ 川原凌太「これくらい 大丈夫だろう どのくらい？」  
林みつき「救いの手 ためらわなくて 差しのべて」  
山川真緒「いじめの輪 一つの勇気で 断ち切れる」  
小野 凜「いじめより 大切にしよう 思いやり」

## コミュニティスクール協議会

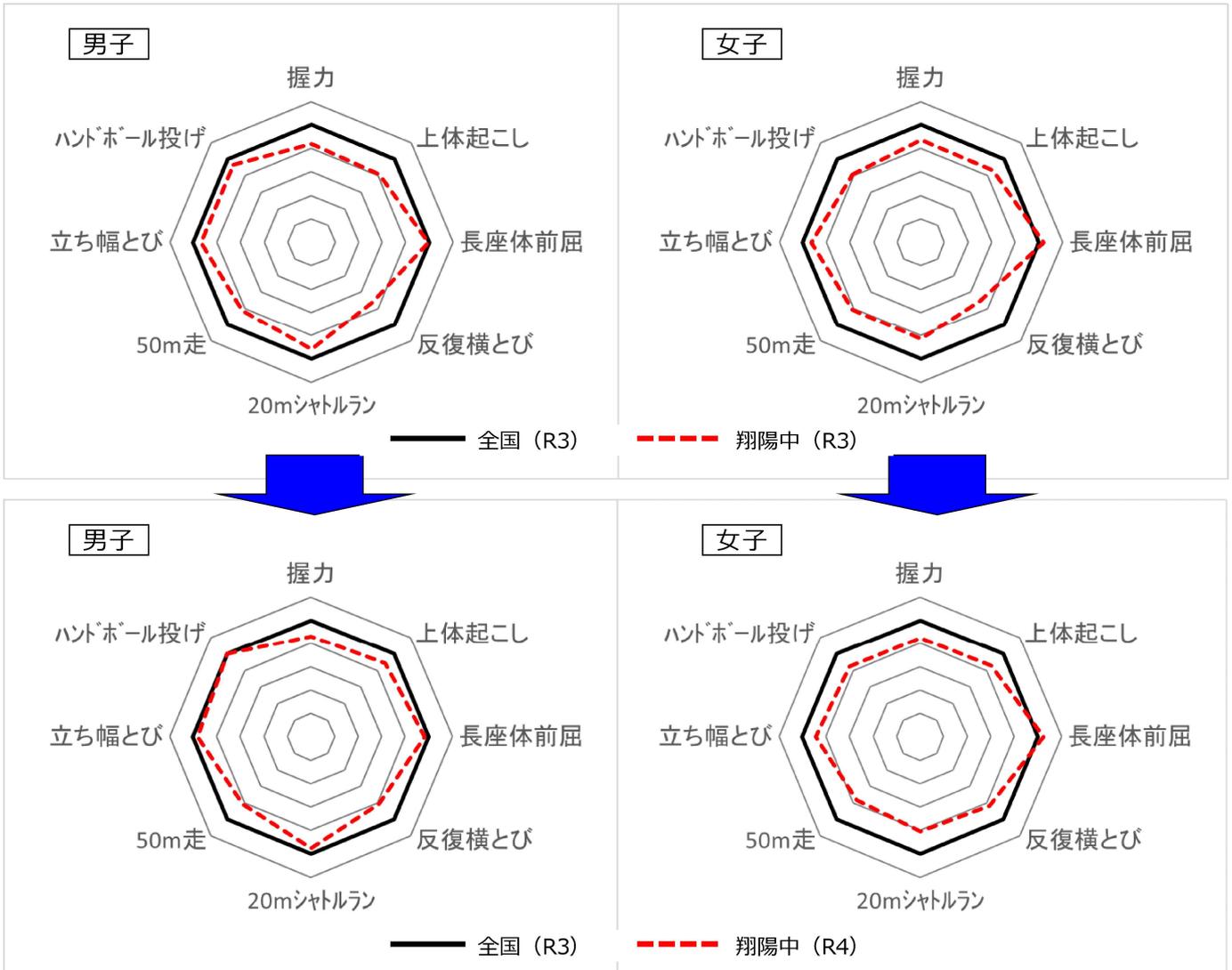
16日、今年度の本校の学校経営について、教育活動の様子や各種調査、学校評価の結果から意見交流を行いました。

また、次年度の経営方針等についてご意見をいただきました。



# 体力向上の取組

## 1. 新体力テストの結果（6月実施、全校平均）



- 男子は全体的に向上している。また、女子は各種目間の凹凸が少なくなりバランスが良くなっている。
- 男子は6種目（握力・上体起こし・反復横とび・20mシャトルラン・立ち幅とび・ハンドボール投げ）、女子は4種目（握力・上体起こし・反復横とび・20mシャトルラン）で向上している。特に、男女ともに「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」が向上した。学校の取組（体育授業時のミニトレーニングの実施やSリーグ等）の成果と考える。
- ▲ 男女ともに全体的に向上しているが、全国を下回る種目が見られ、継続した取組が必要である。

## 2. 全国体力・運動能力・運動習慣等調査での生徒質問紙の結果（6月実施、中2）

- 体育の授業が楽しく、運動が好きで大切だと感じている生徒の割合が全国より高かった。
- ▲ メディアを見る時間が多く、睡眠時間が少ない生徒の割合が全国より高かった。
  - ・睡眠時間が7時間未満の生徒が多い。（男子3割強、女子5割）
  - ・平日、4時間以上メディアを見る生徒が多い。（男子5割、女子6割）

【対 策】 今年度も継続して、以下の取組を実施しています。

### ① 粘り強い補強運動への取組

毎授業の準備体操後に基礎的な筋力・敏捷性を向上させるミニトレーニングを取り入れ、さらに運動量を確保した授業展開を行っています。

お互いに励まし合ったり、成長を認め合う雰囲気が高まっています。

### ② 「Sリーグ」（翔陽リーグ）の実施

学期毎に、ハンドボールやアイスホッケーなど、異なる球技の学年リーグ戦を実施しています。生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めています。